

2019（平成31）年度前期 地域学総説講義計画

地域学総説A：想像力としての地域学（水曜5限・A20講義室）

1回	4月10日	藤井正	空間という想像力
2回	4月17日	柳原邦光	私の地域学のつくり方
3回	4月24日	松本薫（小説家）（担当：岡村）	「普通」という呪縛 一時代の子としての文学一
4回	5月8日	山鋪智也（連続起業家）（担当：白石）	シリコンバレーからみる日本 一「ニーズ」から考える価値一
5回	5月15日	丹間康仁（帝京大学教育学部准教授／生涯学習・社会教育学）（担当：泉）	学校統廃合からみる地域と子どもの教育のいま
6回	5月22日	松永晴子（NPO国境なき子どもたち職員）（担当：児島）	「居場所」をつくる 一難民キャンプにおける情操教育の現場から一
7回	5月29日	額縁あや（映画監督）（担当：佐々木・稲津）	大切にしてきたもの、大切にしたいものをえがく 一生きものと日々接する人々の暮らしから一
8回	6月5日	村田・岡村・白石・泉・児島・佐々木・稲津	まとめ

◎コーディネーター／サブ・コーディネーター：村田周祐・稲津秀樹（地域創造）

◎コース担当教員／河合務、泉直志（人間形成）、岡村知子（国際地域文化）

◎TA／（谷掛大樹）（後藤潤一郎）

◎講義の構成は次の通り。終了時、出席票を兼ねた小テストを毎回行います。

時間（90分）配分＝5分：フィードバック ＋60分：講師の講義 ＋15分：小テスト ＋10分：質疑応答

小テスト：①講義内容の要約、②指定の問いへの回答

◎「総説A」の成績評価は、①毎回の出席点および報告点（8回×5点）、②期末レポート（60点）によって評価する。

※最終レポート課題：最終レポートは全7回の講義をふまえてください。そのうえで、あなたにとって関心のある事象をひとつ以上取り上げ、そのとき「地域」という考え方・視点はどのようにいかに論じてください。

◎「総説A」については2回以上の欠席で単位を失うことになるので注意すること。

地域学総説B：暮らしの場からの再検討（水曜5限・A20講義室）

9回	6月19日	アレクサンダー・ギンナン	暮らしの場の規定要因の検討① 一グローバリゼーションとはなにか
10回	6月26日	服部真治 （鳥取大学地域学部特任教員、医療経済研究機構研究部研究員兼 研究総務部長／介護保険制度・地域包括ケアシステム）	暮らしの場の規定要因の検討② 一制度と生活の間で（地域包括ケアを中心に）
11回	7月3日	大住克博 （鳥取大学農学部フィールドサイエンスセンター／林学）	暮らしの場の規定要因の検討③ 一自然と人間の関係系（森林を中心に）
12回	7月10日	岡村知子 × 東根ちよ	松本薫作品（『テロルマザー』『TATARA』ほか）の再検討
13回	7月17日	佐々木友輔 × 大元鈴子	額縁あや作品（『ある精肉店のはなし』）の再検討
14回	7月24日	児島明 × 武田信吾	「国境なき子どもたち」の活動の再検討
15回	7月31日	村田周祐 × 稲津秀樹	想像力としての地域学にむけて 一暮らしの場からの再検討一

◎コーディネーター／サブ・コーディネーター：村田周祐・稲津秀樹（地域創造）

◎コース担当教員／泉直志（人間形成）、岡村知子（国際地域文化）

◎TA／（谷掛大樹）（後藤潤一郎）

◎「総説B」「総説C」は「総説A」の授業期間中に履修希望を募ります。

◎「総説B」は「総説A」と同じ題材を「暮らしの場」から再検討し、「総説A」の学びを深める。

一講義の構成は次の通り。5分：フィードバック＋60分：講師の講義＋25分：グループ討論（議論内容の報告含む）

◎「総説B」の成績評価は、①毎回の出席点および報告点（7回×5点）、②期末レポート（65点）によって評価する。

◎「総説B」については1回以上の欠席で単位を失うことになるので注意すること。

◎講義室は変更の可能性があります。